

事業所名		こどもステーションあそび家					支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		1 日	
法人（事業所）理念			放課後等デイサービスを行うにあたり、学童期、思春期という時期の発達支援の中で重要な要素である【自己肯定感】【達成感】【仲間意識】【孤立の防止】を支援目的や内容に盛り込み、日々の支援に取り組んでいくことによって、利用していく子どもたちの安心感や自尊心を育み、持てる能力を発揮できるように、適切な指導および援助を行います。そして、この経験が成人後の生きづらさの軽減や予防に繋がることができるならば、大きな意義のあることであり、そのためにも常に事業所の質を上げていくこと、子どもたちのために最善の支援を行うことが大切であると考えています。													
支援方針			児童発達支援の4つの役割、「本人支援、移行支援、家族支援、地域支援」を踏まえ、「健康・福祉」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」という5領域の支援に基づいて、子どもたちの成長のために、いろいろな側面から支援を行います。また当事業所独自のシステム、仮想通貨制度とマナーカードにより、基本的な生活スキル、金銭感覚や計画性、ルールやマナーを守る習慣が身について、社会に出たときに困らないで自立していけるように支援していきます。													
営業時間			学校通常日	13 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし						
			学校休校日	10 時	0 分から	17 時	0 分まで									
			支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	□日頃から健康状態の確認と健康管理を行い、健康状態を維持できるように支援します。 □更衣、清潔、排泄、準備、片付け、荷物管理、忘れ物など、それぞれの子どもたちが抱える課題に沿った支援を行い、日常生活に必要なスキルを習得できるよう支援します。 □調理活動により、食生活や料理に関心を持ったり、食事のマナーや好き嫌いを改善することを学んでいきます。 □肥満などにならないように、筋トレ、縄跳び、ボール遊び、卓球など、いろいろ運動をして運動習慣を身につけることができるよう支援します。														
	運動・感覚	□体力やバランス、筋力をつけるための運動を通して、体の使い方を理解し、適切な動きができるように支援します。 □集団競技やスポーツを通して、ルールの理解や体の動き、体のコントロールを学んでいけるよう支援します。 □微細運動やボール投げ、コーディネーショントレーニングなどにより、目や指先、手足の動き、力の強弱、距離感等を学び、様々な感触に触れることで感覚の成長を支援します。														
	認知・行動	□毎月や毎日の目標や課題を設定し、子どもたちが自主的に取り組むようにすることで、目標意識や優先順位、時間やルールを意識して動く習慣が身につくように支援します。 □子どもたちの能力に応じた個別のプリント学習により、平仮名、カタカナ、漢字の読み書き、数量の概念、計算能力など、基礎的な学力を習得できるよう支援します。 □工作活動やイラスト、塗り絵などで想像力を伸ばし、創作の技術の向上た作品を完成させる達成感などの経験を重ねて、自己肯定感を育ていけるよう支援します。 □いろいろな活動を通して、自分から興味を持って、常識的な知識や語彙力を向上させることができるよう支援します。														
	言語 コミュニケーション	□自分の考えや気持ちを言語化して、相手にうまく伝えられるようになるために、文章力や文章理解の力がつくように支援します。 □周りの子どもたちとのトラブルを減少させるために、言葉使いや言葉の選ぶ方を改善していけるように支援します。 □相手への感謝やお祝いする気持ちを育み、自分も周りも大切にコミュニケーションができるよう支援します。														
	人間関係 社会性	□いろいろな集団活動を通して、ルールやマナーを守ることを学び、他者との距離感を理解できるよう支援します。 □集団活動を通して、自分の役割を学び、周囲を見ながら適切な行動ができるように支援します。 □個別支援として、ソーシャルスキルトレーニングを行い、対人関係、金銭感覚、計画性など社会に適応するために必要なスキルを身につけるために支援をします。 □集団活動全般を通して、周囲への適切な声かけや気持ちのコントロールの仕方を学んでいけるよう支援します。														
家族支援			・ご家族と連絡ノートやLINEで常に連絡調整しています。・ご家族の困りごとや心配ごとの相談に対し、速やかに対応しています。・子どもの発達上の課題に対し、ご家庭と連携して支援に取り組みます。必要に応じ、関係者、関係機関と連携を図り、支援します。					移行支援		・面談等により、こどもの将来の進路について、保護者の意向を確認します。・将来の選択肢を増やせるように、情報の提供やアドバイスをを行い、学校や関係機関とも情報共有や連携を図りながら支援していきます。						
地域支援・地域連携			・地域の屋外プールや図書館、体育館、公園等の公共施設を利用し、地域のB型事業所の弁当や飲食店の弁当を活用しています。・地域の学校、福祉サービス事業所、相談支援事業所等の自立支援協議会に参加しています。					職員の質の向上		・勤務実績に応じ、自発管基礎研修、実践研修、現任研修を受講します。・相談支援専門員研修の受講やその他の研修の受講に努め、自己研鑽を行います。						
主な行事等			毎土曜日は集団スポーツ、公園遊び、工作大会、料理実習、映画鑑賞、サバゲーなどいろいろなイベントを行っている。季節の行事では、1月の初詣、3月の花見、登山、卒業式、6月からの釣り、夏休みのプール、キャンプ、10月のハロウィン、12月のもちつきなど行っている。宇宙科学館や動物園、県内の公園、行楽地なども行き、体験活動をしています。													